

ORACLE

Oracle Fusion Agentic Applications

業務の仕組みを変革する





目次

急速に変化する世界に向けた業務の变革.....	3
プロアクティブなエージェント型アプリが成果をもたらす	4
オラクルならではの方法で、企業のビジネス課題解決を支援.....	4
エージェント型アプリケーション：次世代のエンタープライズ・ソフトウェア.....	5
Oracle Fusion Agentic Applicationsの例.....	6
Fusion Agentic Applicationsが選ばれる理由	8
Oracle AI Agent Studio.....	9
ビジネス・アプリケーションにオラクルが選ばれる理由.....	10

急速に変化する世界に向けた業務の変革

今の働き方は、もはや通用しません。あまりに時間がかかりすぎます。あまりに煩雑です。従来のエンタープライズ・アプリケーションは、固定化されたワークフローに縛られた記録システムであり、結局はユーザー自身に作業をさせています。ユーザーは、例外処理、承認管理、意思決定、データ照合、社内ポリシーの確認を行い、専門的な助言を得るために関係者を巻き込んでいます。その結果、組織は意思決定の遅れ、優先課題の見落とし、業務効率の低下に悩まされています。今、エンタープライズ・アプリケーションにさらなる役割が求められています。

エンタープライズ・アプリケーションにおけるユーザーの課題

- 1 手作業での解釈が大きな負担に**
ユーザーは、ダッシュボードを読み解き、次に何が起こるかではなく過去に焦点を当てたレポートをつなぎ合わせることに多くの時間を費やしています。そのため、システムがインサイトを自動的に成果につなげるのではなく、ユーザーが手作業で介入して業務を進めざるをえません。
- 2 柔軟性に欠ける硬直的なワークフロー**
従来のワークフローは、外部要因やビジネスニーズの変化にかかわらず、あらかじめ決められた固定的な手順に従うため、新たな状況への適応に時間がかかり、煩雑なものとなります。
- 3 データに圧倒され、重大な問題を見落とす**
膨大なデータに埋もれて重要な問題や機会が見落とされ、期限遅延、リスク、新たな優先課題が見過ごされる可能性があります。
- 4 人的介入による不整合と遅延**
人の力だけに頼ると、特にプレッシャーのかかる状況下では、不整合、ボトルネック、ミスの発生を招くことになります。



プロアクティブなエージェント型アプリが成果をもたらす

エージェント型アプリケーションは、新しい種類のアプリケーションです。エージェント型アプリケーションは、単なるプロセスの完了にとどまらず、決算締め早期化や従業員離職率の低減といったビジネス目標の達成に向けて自律的に動き、企業パフォーマンスを高める、プロアクティブで目標志向の協働パートナーです。



オラクルならではの方法で、企業のビジネス課題解決を支援

オラクルは、複雑なビジネス課題の解決に向けて、統合テクノロジー、AI自動化、セキュアで統一されたプラットフォームを組み合わせた、包括的なエンタープライズグレードのアプローチを提供しています。高度なエージェント機能を組み込んだ Oracle Fusion Cloud Applications Suiteは、ソフトウェアが単に業務を支援するだけでなく、スケールをもって成果創出を促進する新時代を切り開きます。

エージェント型アプリケーション： 次世代のエンタープライズ・ソフトウェア

AIはすべてを変えます。初めて、実行のスピードが人の処理能力に制約されなくなります。ネイティブのエージェント型アプリケーションを備えたFusion Applications Suiteは、従来のルール主導の自動化を超え、エンタープライズ・ソフトウェアを記録システムから成果を生み出すシステムへと進化させます。

成果の実現

Oracle Fusion Agentic Applicationsは、何をすべきか指示されるまで待ちません。これらのアプリケーションは、継続的な評価と動的な優先順位付けを通じて、インテリジェント・エージェントのチームの力で、コラボレーションを編成し、ニーズを先読みし、新たなデータに基づいて行動します。この目標主導型のアプローチにより、リソースと取り組みがビジネス目標に向けられ、組織全体の俊敏性と意思決定の信頼性が高められ、同時に運用上の負担が最小限に抑えられます。

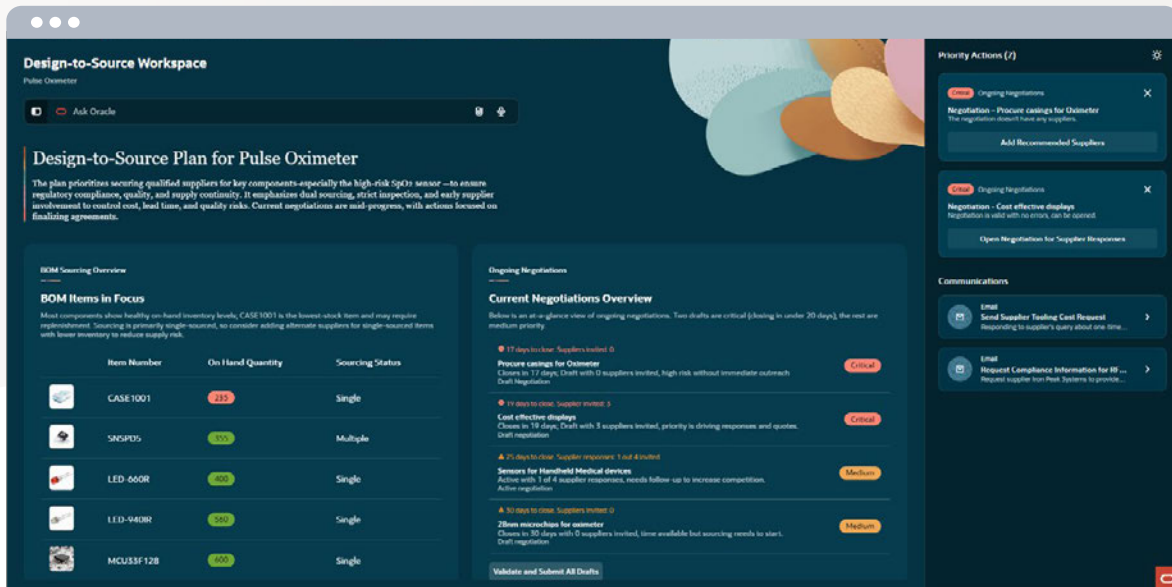
仕事を人間中心に

エージェント型アプリケーションは、複雑かつデータ集約的で反復的なタスクを大規模に処理して、チームのパートナーとして機能します。異常の検知、シグナルの関連付け、優先順位の管理が行われるため、人間は、最も重要な領域に集中し、戦略的な意思決定、判断、倫理、監督、創造的なイノベーションといった価値の高い活動に力を注げるようになります。従業員はエージェントのチームと肩を並べて働き、迅速なコラボレーションと、より的確な情報に基づく協調的な行動を実現できます。

可能性を再定義する

ソフトウェアの機能が拡大すれば、私たちにできることも広がります。エージェント型アプリケーションにより、専門知識が業務フローに直接組み込まれ、トランザクション処理とナレッジワークが融合し、よりスマートな業務遂行と優れた成果が実現します。これにより、組織はこれまで解決できなかった問題に取り組み、従来の限界を超える新たな可能性を切り開くことができます。

Oracle Fusion Agentic Applicationsの例



Design-to-Source Workspace

目的： エンジニアリング部門と調達部門の業務を連携させる

成果： 製品コスト、サイクルタイム、コンプライアンス・リスクの低減

Design-to-Source Workspaceは製品仕様やCAD設計データを調達可能な品目へと変換し、適格なサプライヤーを提案するとともにRFQを自動的に開始することで、エンジニアリング部門と調達部門をつなぎます。エージェントは、コストとリード・タイムのトレードオフをシミュレーションし、品目作成、サプライヤーの特定、リスク評価、調達ワークフローを自動化するとともに、エンドツーエンドのトレーサビリティを維持します。これにより、RFQの遅延やリスクの潜在化を招く断片的な手作業が、AIを活用した統合プロセスへと置き換わります。このプロセスは、精度の向上、監査証跡の強化、スケジュールの短縮を実現し、エンジニアリング・チームや調達チームは、戦略的な業務に注力できるようになります。

Collectors Workspace

目的： さまざまなシステムからの顧客データを統合、整理する時間の削減

成果： 現金回収の迅速化、DSOの短縮、カスタマー・エクスペリエンスの向上

Collectors Workspaceは、大規模言語モデル（LLM）搭載のエージェントにより回収チームを支援します。構造化データと非構造化データを統合し、債権エイジング・レポートの作成、メールスレッドの確認、支払異議の調査といった手作業をなくします。エージェントは、Fusionデータ全体に文脈に基づく推論を適用し、支払い傾向をコミュニケーションや

異議申立ての履歴と組み合わせたリスク分析を行ったうえで、各顧客に合わせたトーンのガイダンスとともに、最適な次のアクションを推奨します。アウトリーチを自動化し、段階的な推論を用いて通話用のトークトラックを生成することで、回収担当者は準備にかかる時間を減らし、解決により多くの時間を割けます。これにより、DSOの短縮、支払約束の成約率向上、キャッシュフロー強化、不良債権の削減に注力できます。

Cross-Sell Program Workspace

目的： 成長機会をプロアクティブに特定する

成果： 顧客獲得コストを抑えながら、予測可能な収益拡大を促進する

Cross-Sell Program Workspaceは、既存顧客基盤全体から収益拡大の機会を継続的に浮かび上がらせ、収益ポテンシャルと販売準備状況に基づいて優先順位を付け、マーケティングと営業の施策実行を連携させるエージェントを、市場開拓チームに提供します。エージェントは、顧客、アカウント、製品利用状況、契約、更新、サービス、キャンペーン、取引に関する統合的なシグナルを監視し、プログラムの策定、推進要因の説明、およびコンバージョン傾向のスコアリングを行います。Buying Group Agentは、アカウントのコンテキスト、企業属性、製品適合性、および過去の取引パターンを用いて、購買グループを編成します。このワークスペースは需要の段階を評価し、マーケティング担当者の承認を得るための戦術、コンテンツ、およびエンゲージメント戦略を推奨します。承認されると、エージェントはワークフロー全体にわたる実行を調整し、アクティビティを順序付けし、エンゲージメント、パイプラインへの影響、および収益成果を追跡します。手作業の負担を軽減しつつ、適切なアカウントや購買グループに対して、最適なタイミングで営業活動を行うことができますようになります。その他の利点には、顧客の準備が整ったタイミングでの早期アクティベーション、コンバージョンと予測信頼性の向上、顧客獲得コストの削減、連携の取れた実行などがあります。

Workforce Operations Command Center

目的： 手動によるデータ収集および承認遅延の削減

成果： 承認サイクルの迅速化と給与関連トラブルの減少

Workforce Operations Command Centerは、継続的でインテリジェントなオペレーションを支えるよう設計されており、スケジューリング、勤怠管理、休暇管理を一元化して、管理者が事後対応型の業務からプロアクティブな実行へ移行できるよう支援します。エージェント型ワークスペースは、ポリシーや人員配置を踏まえて信頼性の高い人員配置判断を推奨し、リクエストをリアルタイムで監視し、人による承認が必要な項目をトリアージし、定型的な手順を自動で実行します。リアルタイムの影響シミュレーションにより実行前に結果を明確に把握できる一方で、ギャップ、不均衡、コンプライアンス・リスクを早期に検出することで、問題の未然防止、承認サイクルの短縮、後続の給与処理上の問題の最小化を支援します。

Fusion Agentic Applicationsが選ばれる理由

変化の激しい今日のビジネスの世界では、成功は結果で判断されます。Fusion Agentic Applicationsは、さらなる効率性、俊敏性の向上、イノベーションの拡大を求める方々のために設計されています。これらのアプリケーションは、インテリジェント・エージェントからなる連携チームによって駆動され、お客様独自のビジネス目標の達成に向けて能動的に機能し、組織全体に確実な成果をもたらします。

Oracle Fusion Agentic Applicationsの特徴は次のとおりです。

目標主導型： 連携するエージェント・チームは静的なワークフローだけでなく、共有されたビジネス目標に基づいて活動します。目標が設定されるとすぐに、エージェント型アプリが稼働を開始し、部門やシステムをまたいで自律的に連携を図りながら、具体的なビジネス価値を創出します。

設計段階から適応的： エージェントはコンテキストとインサイトをリアルタイムで共有し、企業のあらゆる領域で起こる状況変化に動的に適応します。状況の変化に合わせてワークフローも進化し、整合性を常に保ちながら、迅速に対応します。

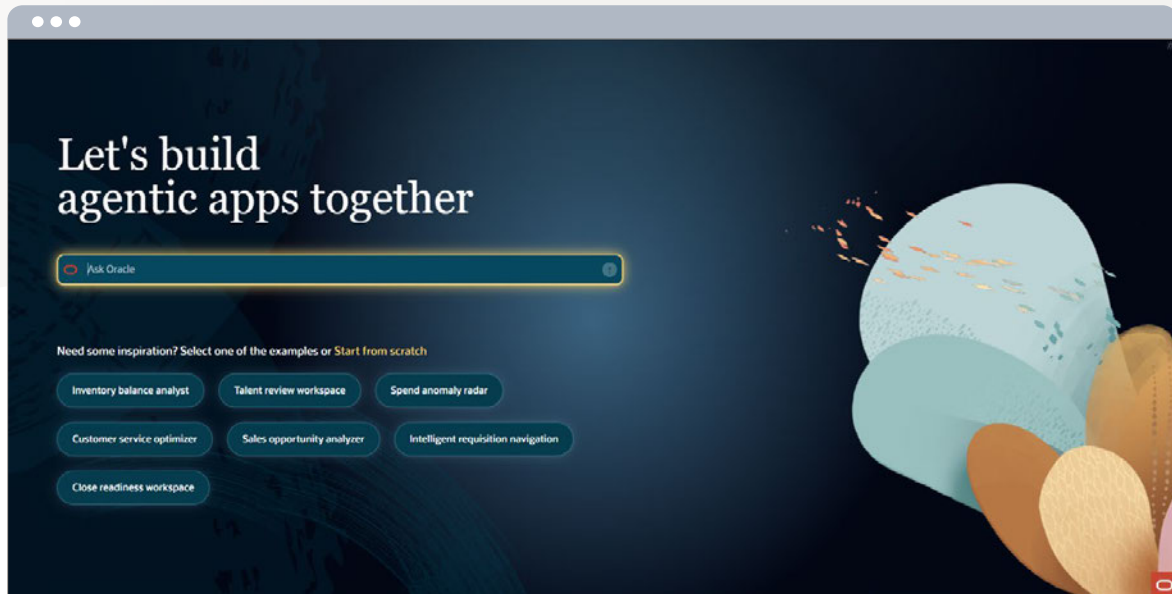
本質的にプロアクティブ： エージェント型アプリケーションは、高度な推論とシームレスな連携を活用し、常に目標を評価しながらニーズを先読みします。そのつど人の介入を待つのではなく、迅速かつ的確に行動して業務を前進させ、ボトルネックが生じる前にそれを未然に防ぎます。

摩擦のない体験： エージェント型アプリケーションはサイロを解消し、絶え間ないアプリの切り替えを排除します。エージェントは、あらゆるシステムや機能にまたがる要素を連携させ、タスクをシームレスに調整してデータを統合します。その結果、エンドツーエンドでスムーズなワークフローが実現し、連携していないレポートやツール間を行き来する必要がなくなります。

緻密さ： エージェント型アプリケーションは細部まで徹底して目を配り、タスクを追跡し、期限や承認を監視して、異常や例外を検知します。何も成り行き任せにせず、ビジネスが精緻に運営されているという確信を持てます。

エキスパート： エージェントは、専門知識を業務フローに直接組み込み、トランザクション業務とナレッジワークを融合させて、効果的な意思決定を実現します。インサイトが実行を支え、より賢明な意思決定とより良い成果につながります。

Oracle AI Agent Studio



Oracle AI Agent Studioは、Fusion Applicationsの一部として、AIエージェントとエージェント型アプリケーションを構築、テスト、デプロイするための包括的な開発プラットフォームです。Agentic Apps Builderでは、実現したい成果を伝えるだけで、AI Agent Studioが適切なエージェントを組み合わせ、エンタープライズ・データを連携させ、アプリケーションを構築します。これにより、従来のコーディングを行うことなく、チームが連携の取れたアクションを実行できるようになります。監視および可観測性機能により、エージェントのパフォーマンスや実行プロセスを追跡し、リリース前にバージョンを安全に比較できるだけでなく、品質、コスト、成果を測定して、自信を持って結果を向上させることができます。その結果、手作業を削減し、全員の連携を維持しながら、セキュアに目標重視の実行をおこなうことが可能になります。

Fusion Agentic Applications—インテリジェントなテクノロジーと人の志が会う場所。
組織が達成できることを再定義し、最も重要な成果を生み出し始めましょう。

ビジネス・アプリケーションに Oracleが選ばれる理由

Oracleは、財務、人事、サプライチェーン、製造、営業、サービス、マーケティングにわたる包括的なビジネス・アプリケーション・スイートを、フル統合スタック上で提供できる数少ないエンタープライズ・ソフトウェア・プロバイダーの1社です。主要なAIプロバイダーから信頼されているOracle Cloud Infrastructureは、Oracle Fusion Cloud Applicationsの迅速なイノベーションを可能にします。ワークフロー全体にAIを組み込み、組織に最適化されたエージェント機能を活用して、データの連携やプロセスの自動化が実現し、より優れた成果と実用的なインサイトが得られます。Fusion Applicationsは、予期せぬ事態への備えと次の成長段階の実現を支援する数百もの新しいイノベーションによって継続的に更新されています。

詳細はこちら

デモのリクエスト

お問い合わせ

050-3615-0035にお電話いただくか、oracle.com/jp/corporate/contact/ にアクセスしてください

北米以外の地域では、oracle.com/contact で最寄りのオフィスをお探してください

Copyright © 2026, Oracle and/or its affiliates. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書について、誤りがないことは保証されません。また、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証および条件を含め、口頭による明示、法律上の黙示を問わず、その他いかなる保証または条件の対象にもなりません。Oracleは、このドキュメントに関連するいかなる責任も明確に否認します。また、このドキュメントによって直接的、間接的にかかわらず契約上の義務が生じることは一切ありません。本文書は、事前に当社の書面による許可を得ることなく、いかなる目的においても、電子的または機械的な形式・手段を含むいかなる形式または手段によっても、複製または送信することはできません。OracleおよびJavaはOracleおよびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

